



岐阜北週報

7月 母子の健康月間

□ 題 字	岡田一二三	□ 会 長	岡田一二三	
□ 例 会	毎週水曜	□ 副会長	波多野光裕	2025-2026
□ 会 場	都ホテル岐阜長良川	□ 幹 事	井戸憲一郎	No.1973
		会報委員長	鈴木 隆行	25.8.6

前回の記録

第 1972 回 例会 7月30日 (水)
定期総会 (前年度決算報告)

担当: 会長・前会計

本日の予定

第 1973 回 例会 8月6日 (水)
慶祝行事
IMリハーサル

担当: IM実行委員長

次回の予定

第 1974 回 例会 8月20日 (水)
クラブアッセンブリー (2)

担当: インターアクト委員会

会長挨拶【岡田一二三 会長】



人生の後半に大切にしたい7つの縁

年を重ねて、ようやく分かってきた大切なものはそんなに多くはないと思います。中でも、そっと支えてくれるのが人生に寄り添う縁という存在です。

1. 人との縁

近すぎず遠すぎず、ちょうどいい距離の人
会わなくてもふと思い出す、そんな関係が心を
支えてくれる

2. 場所との縁

住み慣れた道、懐かしい駅前、何でもない風景、
戻れる場所があるだけでほっとできる日がある

3. 趣味との縁

やめていたことをまた始めてみる
昔の自分と少しつながれる。今だからこそ自由
に楽しめる時間がある

会長挨拶 続き

4. 物との縁

使い慣れた茶碗や椅子、何気ないけれど、手放
せないもの。ふとした瞬間にそのものに支えら
れていると気づく

5. 自然との縁

季節の風、花の香り、空の色、どれも心を静か
に整えてくれます。

自然はいつも変わらずそこにあって、変わった
のはそれに気づける自分だったのでした

6. 過去と自分との縁

忘りたい日も、逃げたくなる過去も、今につな
がる一部。あの頃の自分と少しずつ和解してい
ける

7. 静けさとの縁

賑やかさより静かな時間が心を満たすようにな
る。音のないひとときに本当の自分が顔を出す。

どの縁にも共通するのは心地よさがあるとい
うこと。頑張らなくてもいい。そばにあるだけ
で十分です。だからこそ人生の後半にこそ大事
にしたい。

あなたが今、大切にしている縁はどんな縁で
すか。

出席報告

会員数：27名
 出席数：20/27名
 出席率：74.07%
 欠席者：7名（出席免除 2名）
 来訪者：大島 愛子 様

ニコニコBOX（敬称略）

- ・大島愛子様：大変お世話になりました。
- ・岡田一二三：大島さん、本日よろしくお願ひします。

委員会・同好会報告事項（敬称略）

・湖山 浩行 副会長
 地区ロータリー財団研修セミナー報告
 会長代理として参加しました。

- ・社会奉仕委員会 近藤 祐司 委員長
 - ・若松学園サマーキャンプの日程変更とキャンプ参加へのお願い。
 - ・8月10日長良川清掃への案内および参加依頼



若松学園さんへ助成金

- ・インターアクト委員会 松野 秀計委員長
 - ・9月2日、3日に行われる、城北高校の模擬面接案内および参加依頼
 - ・8月4日、5日インターアクト年次大会が開催されます。会長、幹事におかれましては出席いただきますようお願いいたします。
- ・IM実行委員会 川崎 賢二 委員長
 IM実行委員の発表ならびに協力依頼

幹事報告

- ・11月の地区大会への参加依頼

例会行事 定期総会 担当：会長・前会計

- ・前年度決算報告

次回例会のご案内

第1974回例会 8月20日（水）
 クラブアッセンブリー（2）
 担当：インターアクト委員会

会報・広報 7月担当 鈴木隆行